

東京支部の活動と同級生の絆

昭和 42 年度 工業化学科卒・緑川吉勝



東京支部 幹事
緑川吉勝

私は福島市黒岩の出身地で現在は家族4人で青梅市に住んでおります。2010年に岩崎通信機（株）を定年退職してようやく自分の気持ちに余裕ができたころ、同級生のW氏から「同窓会に行こうよ」と誘われて初めて東京支部の総会・親睦会に参加しました。初めて参加した感想は、会社組織とはまるで雰囲気が違い、懐かしい県工共通の話題があり、言葉の微妙なアクセントに親近感を覚えました。東京支部の活動に参加したことによって、卒業以来、長年会うことがなかった同級生の3人に出逢えたこと、とても有意義でした。このことが契機に3人で低山登山やゴルフを年3回ほど楽しんでいます。

私達の同級生は関東地区に住みながら卒業以来会う機会がなく、所在も不明の人がほとんどでしたが、W氏と協力して今年の1月に8名が参加して初めて関東地区の同窓会ができました。この同窓会、泊まり込みで盛り上がり、午前3時ごろまで全員で語り合いました。朝食の際には「今度は福島の人達と一緒にやろうよ」ということになりました。

早速、福島のK氏と相談した結果「大賛成」、K氏にお世話いただき6月14日、飯坂温泉で22名参加の同窓会を開催することができました。この席でも卒業以来45年ぶりに会う人がほとんどで、とても懐かしく、3次会まで語りつくしました。「次回は3年後に再会しよう、みんな健康でいよう！」と決意しました。

飯坂温泉の帰りに、U氏が「俺は県工初代の園芸部長だったので、今の花壇を見たい」と母校に立ち寄りました。花壇は綺麗に手入れされておりU氏も満足したようでした。懐かしい教室や実験室など校内を丁寧に案内していただいた先生に感謝しています。

同級生は3年間の学業の友ですが、高校時代の苦楽は、同級生の絆の密度を濃く強くしてくれたことを今更ながら実感しました。



2013年6月14日飯坂温泉にて



同15日県工校舎玄関前